

[G] 特別選考G [「理数系教員養成拠点構築プログラム」修了者を対象とした特別選考]

校 種 等	小学校・中学校の理科
特 別 選 考 出 願 要 件	「理数系教員（コア・サイエンス・ティーチャー：CST）養成拠点構築プログラム」を修了した者（令和6年3月31日までに修了見込みの者を含む。）。ただし、過去に岡山県（・岡山市）公立学校教員採用候補者選考試験を特別選考Gで受験した者は除く。
特 別 選 考 に 係 る 提 出 書 類	次のいずれも郵送又は持参により提出する。 ・特別選考調書<様式ア> ・「理数系教員養成拠点構築プログラム」の修了証書又は認定証の写し（修了した者のみ）
試験の免除等	第1次試験を免除する。

8 選考基準等

1 第1次試験

(1) 選考の方法

教職教養試験、教科専門試験、特別支援教育に関する専門試験、養護に関する専門試験、面接並びに提出された各種資料（受験願書、自己推薦書、特別選考調書等）を基に、「**8-5 選考に当たって考慮する事項**」を踏まえて総合的に選考する。

(2) 主な評価の観点

○個人面接

「発言の明確さ、的確さ」 「使命感、意欲的態度」※ 「誠実さ、社会性、協調性」

※ 理数枠・英語枠・地域枠・社会人枠の志願者については、志願する枠に対する「使命感、意欲的態度」

○特別面接

「発言の明確さ、的確さ」 「使命感、意欲的態度」※ 「誠実さ、社会性、協調性」 「専門的力量」

※ 理数枠・英語枠・地域枠・社会人枠の志願者については、志願する枠に対する「使命感、意欲的態度」

2 第2次試験

(1) 選考の方法

グループワーク、個人面接、模擬授業・口頭試問、模擬場面指導・口頭試問、実技並びに提出された各種資料（受験願書、自己推薦書、特別選考調書等）を基に、「**8-5 選考に当たって考慮する事項**」を踏まえて総合的に選考する。

(2) 主な評価の観点

○グループワーク

「コミュニケーション能力」 「社会性、協調性」 「主体性、リーダーシップ」 「問題解決能力」

○個人面接

「発言の明確さ、的確さ」 「使命感、意欲的態度」※ 「誠実さ、社会性、協調性」

※ 理数枠・英語枠・地域枠・社会人枠の志願者については、志願する枠に対する「使命感、意欲的態度」

○模擬授業（模擬場面指導）・口頭試問

「児童・生徒の理解」 「教科指導（保健指導）に関する知識・技能の保有」 「使命感、教育的愛情」

「意欲的態度、誠実さ、社会性、協調性」 「発言の明確さ、的確さ」

○実技

（体育） 「技能に対する知識・理解」 「技能の習得の状況」

（音楽） 「音楽の知識・理解」 「表現の技能」

（美術） 「形態、画面構成」 「明暗、配色」 「テーマ性、完成度」

（書道） 「字形」 「構成」 「線質」 「表現力」

（家庭） 「被服・食物に関する技能」 「材料・用具の扱い方、作業態度」

3 英語の資格による加点

小学校教諭等（全ての枠を含む。）、中学校教諭等（英語：全ての枠を含む。）及び高等学校教諭等（英語）の出願者のうち、各資格・検定において、<表1> (P.15)に示す基準を満たしている者で、電子申請の「加点申請」欄にて申請をした者には、第1次試験の教科専門試験（100点満点）に10点の加点をする。なお、申請をする場合は、必ず電子申請の「英語の資格」欄にも入力すること。

※4 情報の資格による加点との重複申請はできない。

4 情報の資格による加点

小学校教諭等（全ての枠を含む。）、中学校教諭等（全ての枠を含む。）、高等学校教諭等及び特別支援学校教諭等（社会人枠を含む。）の出願者のうち、次の<該当資格>のいずれかに該当する者で、電子申請の「加点申請」欄にて申請をした者には、第1次試験の教科専門試験（100点満点）に5点又は10点の加点（複数の資格を有する場合も、いずれか一つのみの加点とする。）をする。なお、申請をする場合は、必ず電子申請の「特技・資格」欄にも入力すること。

<該当資格>

独立行政法人情報処理推進機構が実施する次の情報処理技術者試験に、平成21年度以降に合格した者

・ITパスポート(5点) ・基本情報技術者(10点) ・応用情報技術者(10点)

※3 英語の資格による加点との重複申請はできない。

5 選考に当たって考慮する事項

校種・職種等	考慮する事項
全ての校種・職種	(1) 部活動・ボランティア活動・JICA（独立行政法人国際協力機構）が実施するJICAボランティア事業に参加する等の幅広い経験を有していること
	(2) 学校図書館司書教諭の資格を所有していること
	(3) 特別支援学校教諭普通免許状を所有していること
	(4) 社会教育主事になりうる資格を所有していること
小学校教諭等	(5) いずれかの教科（英語を除く。）の中学校教諭普通免許状を所有していること
	(6) 中学校教諭普通免許状（英語）又は高等学校教諭普通免許状（英語）を所有していること
	(7) 各資格・検定において＜表1＞(P.15)に示す基準のいずれかを満たしていること ※ 該当する場合は、必ず電子申請の「英語の資格」欄に入力すること。
中学校教諭等	(8) 小学校教諭普通免許状を所有していること
	(9) 複数教科の中学校教諭普通免許状を所有していること
高等学校教諭等	(10) 高等学校教諭普通免許状（情報）を所有していること
中学校教諭等（保健体育）	(11) 剣道4段以上の段位、又は柔道3段以上の段位を所有していること
高等学校教諭等（保健体育）	※ 該当する場合は、必ず電子申請の「特技・資格」欄に入力すること。
高等学校教諭等（数学）	(12) 各資格・検定において＜表1＞(P.15)に示す基準のいずれかを満たしていること
高等学校教諭等（理科）	※ 該当する場合は、必ず電子申請の「英語の資格」欄に入力すること。
特別支援学校教諭等	(13) いずれかの教科の高等学校教諭普通免許状を所有していること

※ 教諭普通免許状及び社会教育主事になりうる資格については、令和6年3月31日までに取得見込みのもの、学校図書館司書教諭の資格については、令和6年3月31日までに必要単位を取得の上、交付申請完了見込みのものを含む。

9 選考結果の通知

第1次試験の結果通知 8月9日(水)午前9時頃	岡山県教育庁教職員課ホームページ(https://www.pref.okayama.jp/soshiki/145/)に第2次試験の受験資格を得た者の受験番号を掲載するとともに、第1次試験の完全受験者に結果を簡易書留で送付する。
第2次試験の結果通知 10月6日(金)午前9時頃	岡山県教育庁教職員課ホームページに採用候補者名簿に登録された者の受験番号を掲載するとともに、第2次試験の完全受験者に結果を簡易書留で送付する。

- ※ 第1次試験、第2次試験ともに、選考結果に関する問い合わせには一切応じない。
- ※ 結果は簡易書留で送付するので、返信用封筒には確実に郵便物を受け取ることができる住所を記入しておくこと。7日間以上不在にする場合は、不在届を郵便局に提出することを推奨する。（様式等は日本郵便のホームページで確認すること。）
- ※ 郵便局による保管期間が過ぎ、岡山県教育庁教職員課へ戻ってきた結果通知については、結果通知日から3か月間保管するので、結果の受け取りを希望する者は、その旨を申し出ること。なお、3か月を過ぎたものについては廃棄する。
- ※ 完全受験しなかった受験者にも、返信用封筒が提出されている場合は、結果を簡易書留で送付する。
- ※ ホームページへの受験番号の掲載期間は、結果通知日から10日間とする。

10 選考結果の情報提供

時期	対象	内容
第1次試験の結果通知時	第2次試験の受験資格が得られなかった者	・受験した全ての筆記試験の得点並びに面接の評価段階
第2次試験の結果通知時	第2次試験の受験者	・第1次試験で受験した全ての筆記試験の得点並びに面接の評価段階 ・第2次試験で受験した全ての試験の評価段階

11 補欠

第2次試験の完全受験者で採用候補者とならなかった者のうち若干名を、補欠として決定し、採用候補者に欠員が生じた場合等には、補欠を採用候補者名簿に登録することがある。

補欠の決定の有無は、第2次試験の結果通知と併せて行い、補欠を採用候補者名簿に登録する場合には、対象者に個別に通知する。なお、補欠の有効期間は、令和6年3月31日までとする。

12 採用候補者の勤務校

- (1) 採用候補者名簿に登録され、採用された者は、岡山県内の市町村（組合）立（岡山市立を除く。）の小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校、岡山県立の中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校のいずれかに勤務する。
- (2) 小学校教諭等の全出願区分（全ての枠及び全ての特別選考を含む。）に出願する場合は、電子申請の「初任地」欄に、岡山県内の26市町村（岡山市を除く。）のうち、自身が配置を希望する1市町村を入力することができる。配置に当たっては、可能な範囲で希望に沿うよう配慮する。ただし、希望の市町村とならない場合がある。なお、希望の有無及び選択する市町村は可否に影響しない。